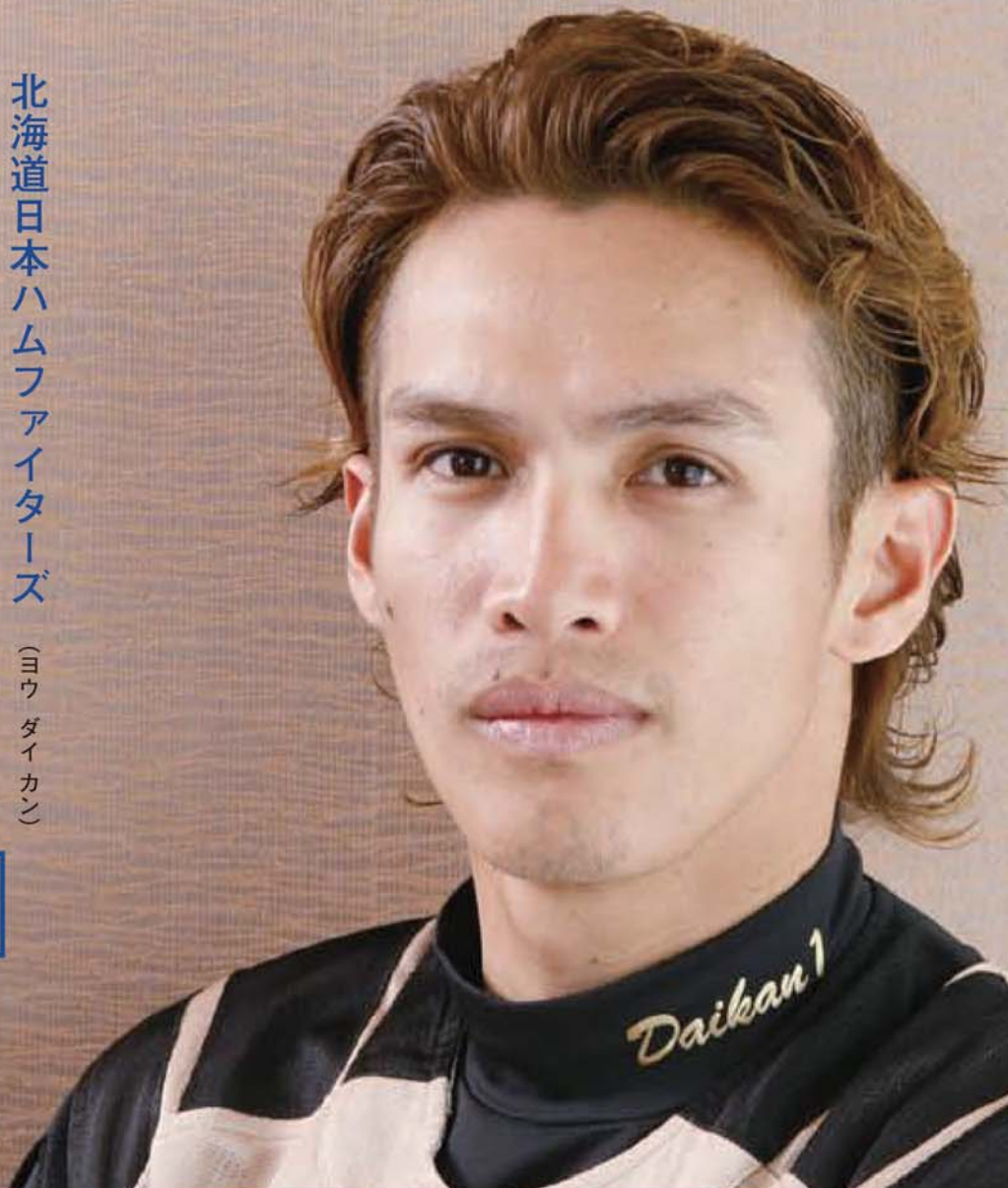


2012年 受賞選手インタビュ

■プロフィール
1987年1月17日生まれ、26歳、台湾出身、
A型/183cm、87kg/高校生ドラフト
1巡目(福岡一高)/プロ通算8年目/
右投右打、外野手

陽岱鋼選手1

北海道日本ハムファイターズ (ヨウダイカン)



背番号1の重み

— 守備に打撃に、今シーズンも大活躍ですね。

陽選手 今年3月にWBCがあったので、実は調整不足で…。でも、今シーズンから偉大な先輩たちが付けていた背番号1を背負っているの、気合が入ってます。僕は何をやるにしても1番が好きなので、この背番号をもらった時はうれしくて。プレッシャーもあるけど、チームの中心になる番号なので、どうチームを引っ張っていくか考えています。

三井ゴールデン・グラブ賞を目標に

— 昨年、三井ゴールデン・グラブ賞を初めて受賞した時のお気持ちは？

陽選手 2月のキャンプの時に、糸井さん(現・オリックス・バファローズ糸井嘉男選手)と中田(翔選手)と「外野手3人で三井ゴールデン・グラブ賞をとるぞ」って目標を立てて、一緒に頑張ったんです。僕自身はライトからセンターに変わって、僕にしかできないプレーをやってみようと思っていました。だから、励みにもなりました。だから

ら受賞した時はすごくうれしかったです。

— ファイターズは、三井ゴールデン・グラブ賞の受賞者が多いですね。

陽選手 僕もともと内野手なので、ボールを中継するのに、どこに投げたら内野手がやりやすいのかがわかってきます。ファイターズには、そういう内野手・投手出身の外野手が多いし、選手同士の連携もしっかりしているから、受賞者が多いんじゃないかな。

野球が好きだからこそ

— 守備において、いちばん大切なことは何でしょうか？

陽選手 やっぱり「基本」ですね。僕はプロになってから外野手になったので、ファームで教わった基本練習は今でもずっと続けています。それから…ダビングキャッチなんかは、すごく勇気がいります。あんなプレーができるのは、楽しんでやっているので、僕は野球が好きなんです。野球をやっている時が、本当に楽しい！入団4年目くらいかな、ずっと1軍に上がれないという時期があって。



その後、札幌ドームでの試合に出られるようになった時に、自分たちを支えてくれていたたくさんのお客さんの前で大好きな野球をできるのは、本当に幸せなことなんだとあらためて感じたんですね。だからこそ、いいかげんな気持ちではプレーできない。自分が心の底から楽しんでいる姿を見ていたきたいと思います。

目指すは 松井稼頭央選手

— 今後の目標は？

陽選手 僕は昔からずっと、松井稼頭央さんにあこがれているんです。2002年に、3割30本塁打30盗塁達成というスリッパヒッターとして史上初のトリプルスリー。同じ年に三井ゴールデン・グラブ賞も受賞してますよね。そういう選手になれるよう、これからも頑張りたいと思います！

